

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元では、ルネサンスや宗教改革、大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させることをねらいとしている。

大航海時代のヨーロッパとアメリカの政治、経済、社会、文化、宗教、生活などさまざまな観点から歴史的事象を取り上げ、多角的で柔軟な見方を養うことで、人権教育で育てたい「互いの相違を認め、受容できる諸技能」の育成を図る。

本学習において、歴史的推移や相互の因果関係などを多面的・多角的にとらえさせ、それぞれの考えや思いを、発表し交流させることで、互いの意見の違いを認め、公平に接することができる技能を身に付けさせたい。

2 単元の目標

大航海時代がヨーロッパとアメリカ、アフリカ、アジアにもたらした社会・経済等の変容を理解し、その後確立された西欧中心の世界システムについて考察することができる。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

歴史的事象を多角的・多面的に考察し、交流する学習活動を通して、互いの相違を認め、受容できるための諸技能を身に付ける。（技能的側面）

4 指導のポイント

（1）人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

- 歴史的事象の因果関係や社会の変容を多面的・多角的に考察できるように学習シートを工夫する。
- 年表、地図、その他の資料を使い、生徒自身に調べ、考えさせる時間を確保し、グループで考えを伝え合うことで、多様な考えがあることを知らせる。
- 他教科等との関連を図り、日常の事象を多面的・多角的にとらえることができるようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

①自己存在感

ワークシートを用いて調べ、まとめる時間を確保することで、「授業に参加している」という実感を持たせ、一人一人が自分の考えを発表できるようにする。

②共感的人間関係

お互いの考えを交流し合うことによって、「共に学び合う仲間だ」と実感できる雰囲気を作り、自分の意見と異なる意見や感情を認め、それを理解しようとする場になるようにする。

③自己選択・決定

自他の学習課題や学習の仕方を振り返り、互いの学びを交流する機会を提供することで、他者の考えに学び、自分の考えを深めさせる。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（5時間取り扱い）

※帝国書院 「2節 大航海時代と新たな国家の形成」の例

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 ヨーロッパのめざめ ○ルネサンスが起こった背景や経緯を理解し、それが後の世界にどのような影響を与えたかを考察する。 ○宗教改革の内容を理解し、そのことが世界にどのような影響を与えたかを考察する。	○人間の個性や自由な生き方を求める考えが、ルネサンスにつながったことに着目させる。 ○人々が聖書に信仰のよりどころを求めたことで、宗教改革が始まったことに気付かせる。
2 大航海時代の始まり ○大航海時代がヨーロッパとアメリカにもたらした政治・経済等の変容を知る。 （本時） （ワークシート）	○香辛料を求めてポルトガルはインドへ、スペインはアメリカに進出したことに着目させる。 ○アステカ王国とインカ帝国が滅ぼされ、先住民社会が大きく変容したことや先住民の救済を訴えた人物がいたこと、商業革命により大西洋岸の諸国が急成長したことに気付かせる。 ○互いの学びを交流する機会を設け、他者の考えに学び、自分の考えを深めさせる。
3 ヨーロッパの新しい国際関係 ○大航海時代のヨーロッパの変化と、主権国家体制下の経済政策を調べる。	○主権国家が形成され、国家間の関係も多く変化していくことに着目させる。 ○専制君主政と立憲君主政の違いに気付かせる。

<p>4 ヨーロッパ諸国の国づくりと文化の発展</p> <p>○主権国家体制初期の絶対王政から市民革命が、発生するまでの経緯や意義を知る。</p>	<p>○経済力をつけた市民階級の専制政治に対する反発が、市民革命を引き起こしたことに気付かせる。</p>
<p>5 アジア・アメリカへ進出するヨーロッパ</p> <p>○ヨーロッパ諸国の海外進出と植民地化について調べる。</p>	<p>○ヨーロッパ諸国が設立した東インド会社の進出により、アジアの植民地化が進んだことに着目させる。</p> <p>○ヨーロッパ諸国のアメリカへの進出が、先住民の生活を圧迫したことに気付かせる。</p> <p>○大西洋三角貿易によって、黒人奴隷が、アメリカに連れて来られたことに気付かせる。</p>

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (2 / 5時間目)

目標

◇大航海時代において、ヨーロッパとアメリカに起こった政治・経済等の変容を理解する。

人権教育で育てたい資質・能力

◆大航海時代における歴史的事象を多面的・多角的にとらえ、交流する学習活動を通して、互いの相違を認めることができる。(技能的側面)

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 前時の学習を振り返る。 2 本時の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 大航海時代におけるヨーロッパとアメリカの変容をとらえよう。 </div>	<p>○前時までの学習を参考に、ヨーロッパにおける大きな社会的価値観の変化について、確認させる。</p>	
<p>3 香辛料を求めて大航海に乗り出した理由と航海者について調べる。</p>	<p>○なぜ香辛料を求めたのか、その用途や価値について押さえる。 ○ルネサンスの発明が海外進出に及ぼした影響を押さえる。 ○大航海時代のヨーロッパ諸国の海外進出の状況を地図で把握させる。</p>	
<p>4 大航海時代におけるヨーロッパ(スペイン)とアメリカ(中南米)の変容を調べ、交流する。</p> <p>(1) 教科書等を用い、政治、経済等について調べ、調べた事実をもとに、ヨーロッパ(スペイン)、アメリカ(中南米)が、それぞれ全体的にどのように変容したかをまとめる。 【個人→グループ】</p>	<p>○生徒をヨーロッパ(スペイン)とアメリカ(中南米)を調べるグループに分ける。 ○1グループの人数は4~6人で、生徒数に応じてグループ編成を行う。 ○教科書で調べる際は、本時以外のページも参考に、ワークシートにまとめさせる。 ○グループで、調べた事実をまとめる際は、自分と異なる考えも尊重しながら、グループの意見をまとめさせる。 ○グループでまとめた短冊を黒板に貼らせる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>短冊</p>

<p>(2) 各グループから発表された内容について全体で確認する。</p> <p>(3) 自分が調べている側から、調べていない側の変容について、どうとらえたか意見の交流を行う。</p> <p style="text-align: center;">【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ側 →アメリカ側の変容を見て ・アメリカ側 →ヨーロッパ側の変容を見て <p>5 ラス=カサスについて調べ、交流する。</p> <p>(1) ラス=カサスが先住民救済のためにとった行動をまとめる。</p> <p>(2) ラス=カサスの行動について、どう考えたか、それぞれの考えを交流する。</p>	<p>○生徒が発表した内容について必要に応じて補足説明する。</p> <p>○調べていない側については、黒板の短冊をもとに、ワークシートに記入させることで、その変容の概略をつかませる。</p> <p>○ヨーロッパ（スペイン）を調べた生徒は、アメリカ（中南米）が全体的にどのように変容したかを、アメリカ（中南米）を調べた生徒は、ヨーロッパ（スペイン）が、全体的にどのように変容したかについて、それぞれどう受け止めたか自分の意見を発表させる。</p> <p>○先住民の人口が激減し、労働力を補うために、アフリカから黒人が奴隷として運ばれたことに触れる。</p> <p>◇ヨーロッパ（スペイン）やアメリカ（中南米）における政治・経済等の変容を理解している。</p> <p>○スペインの司祭であるラス=カサスが、先住民救済のためにとった行動をまとめさせることで、相手の立場に立って考え、行動することの大切さに気付かせる。</p> <p>○ラス=カサスの行動について、自分の考えと異なる友だちの考えを認め、尊重したうえで発表させる。</p> <p>◆大航海時代における歴史的事象を、多面的・多角的にとらえ、互いの意見を認め合うことができている。</p>	
<p>6 学習の振り返りをする。</p>	<p>○一つの事象を様々な立場から見ることによって、互いの相違に気づき、想像すること、共感することの大切さに気付かせる。</p> <p>○次時の予告をする。</p>	

6 資料

- 帝国書院 明解 世界史A
「2節 大航海時代と新たな国家の形成」 pp.74~89
- 東京書籍 世界史A
「4節 16世紀のヨーロッパ」 pp.58~61
「5節 ヨーロッパの主権国家体制の成立と世界商業の進展」
pp.62~65
- 実教出版 世界史A
「3章 一体化に向かう世界」 pp.68~83
- 実教出版 新版世界史A
「2章 一体化に向かう世界と日本」 pp.64~79
- 清水書院 世界史A最新版
「第3章 ヨーロッパの再編と大西洋世界」 pp.78~93
- 山川出版社 要説世界史
「2 近世ヨーロッパの形成と発展」 pp.84~101
- 山川出版社 現代の世界史
「第2章 大航海時代」 pp.34~40
「第4章 近世ヨーロッパの成長」 pp.53~68
- 山川出版社 世界の歴史
「第2章 世界の一体化の始まり」 pp.54~55、pp.66~83
- 第一学習社 高等学校 世界史A
「第2章 結びつく世界と近世の日本」 pp.82~97

ワークシート

「大航海時代の始まり」

- 1 大航海時代におけるヨーロッパ（スペイン）とアメリカ（中南米）の政治、経済・社会、文化・宗教・生活はどのように変容したか、教科書や資料等を参考にまとめましょう。

大航海時代における変容

ヨーロッパ（スペイン）側

政治	【大航海時代以前】 教会の権威が衰え、宗教改革やルネサンスにより、多くの発明や思想を生んだ。
	【大航海時代以降】

経済・社会	【大航海時代以前】 農奴制が少しずつ崩壊していた。
	【大航海時代以降】

文化・宗教・生活	【大航海時代以前】 宗教改革により、カトリックの権威が弱くなり、新たなプロテスタント勢力が生まれた。
	【大航海時代以降】

アメリカ（中南米）側

政治	【大航海時代以前】 都市を中心に王政がしかれ、アステカ・インカでは神権政治が行われていた。
	【大航海時代以降】

経済・社会	【大航海時代以前】 金銀などの鉱物資源に恵まれていた。
	【大航海時代以降】

文化・宗教・生活	【大航海時代以前】 青銅器文明で鉄器や車輪などは持たなかった。
	【大航海時代以降】

2 調べた政治、経済等の事実をもとに、ヨーロッパ（スペイン）、アメリカ（中南米）が、それぞれ全体的にどのように変容したかをまとめましょう。

ヨーロッパ（スペイン）側の変容

アメリカ（中南米）側の変容

3 ラス=カサスが先住民救済のためにとった行動をまとめましょう。

4 ヨーロッパ側の立場のラス=カサスが、先住民の救済を訴え、行動したことについて自分の意見をまとめましょう。

【解答例】

「大航海時代の始まり」

1 大航海時代におけるヨーロッパ（スペイン）とアメリカ（中南米）の政治、経済・社会、文化・宗教・生活はどのように変容したか、教科書や資料等を参考にまとめましょう。

大航海時代における変容

※帝国書院の例

ヨーロッパ（スペイン）側

政治	【大航海時代以前】 教会の権威が衰え、宗教改革やルネサンスにより、多くの発明や思想を生んだ。
	【大航海時代以降】 ・スペインはフェリペ2世のもとで全盛。 ・イギリスはエリザベス1世のもとで発展。 ・フランスはルイ14世が強力に統治。 ・対外進出し、植民地を築いた。

経済 ・ 社会	【大航海時代以前】 農奴制が少しずつ崩壊していた。
	【大航海時代以降】 ・銀の流入により物価高騰。 ・商業革命で大西洋岸の諸国が急成長。 ・ラス=カサスが先住民の救済を訴えた。

文化 ・ 宗教 ・ 生活	【大航海時代以前】 宗教改革により、カトリックの権威が弱くなり、新たなプロテスタント勢力が生まれた。
	【大航海時代以降】 ・じゃがいもにより食料事情安定。 ・各国の近代語の成立。 ・諸国の国民文化の基礎形成。 ・自然科学の急速な進歩。 ・啓蒙思想が生まれた。

アメリカ（中南米）側

政治	【大航海時代以前】 都市を中心に王政がしかれ、アステカ・インカでは神権政治が行われていた。
	【大航海時代以降】 ・コルテスがアステカ王国を滅ぼす。 ・ピサロがインカ帝国を滅ぼす。 ・スペイン、ポルトガルの植民地とされる。

経済 ・ 社会	【大航海時代以前】 金銀などの鉱物資源に恵まれていた。
	【大航海時代以降】 ・先住民に納税や労働を強制。 ・鉱山開発や農場経営で先住民を酷使した。 ・ヨーロッパ人が持ち込んだ疫病で先住民が激減。 ・イスパニョーラ島では数十万の人口が絶滅。 ・1200万人以上の人々が殺された。 ・労働力を補うため、アフリカから黒人が奴隷として連れてこられた。

文化 ・ 宗教 ・ 生活	【大航海時代以前】 青銅器文明で鉄器や車輪などは持たなかった。
	【大航海時代以降】 ・先住民や黒人のキリスト教への改宗。 ・スペイン文化の浸透。 ・アステカ文明、インカ文明の消滅。

2 調べた政治、経済等の事実をもとに、ヨーロッパ（スペイン）、アメリカ（中南米）が、それぞれ全体的にどのように変容したかをまとめましょう。

ヨーロッパ（スペイン）側の変容

大西洋岸のヨーロッパ諸国は、経済的に豊かになり、国王による統一がすすんだ。国力をつけた国は、対外進出を行い、植民地を築いた。

アメリカ（中南米）側の変容

ヨーロッパ諸国の植民地となり、先住民の人口は、疫病や過酷な労働により減少した。労働力を補うため、アフリカから黒人が奴隷として連れてこられた。

3 ラス=カサスが先住民救済のためにとった行動をまとめましょう。

4 ヨーロッパ側の立場のラス=カサスが、先住民の救済を訴え、行動したことについて自分の意見をまとめましょう。